

お申し込みの前に下記事項を必ずお読みください。

レベル表記はコース毎に、体力度、技術度の2つで表し、新潟県や長野県等の「山のグレーディング」に準拠しています。下記の表に従って、1日毎の「歩行時間」あるいは「累積標高差」を算出し、1日毎の体力度レベルを決め、1日毎の体力度レベルの最大値を該当コースの体力度レベルとし、5段階としています。技術度レベルは、新潟県や長野県等の「山のグレーディング」の技術的難易度に基づき5段階としています。

□ 体力度

体力度	階級	1日の実歩行時間	1日の累積標高差
1	初級	約3時間以内	700m以内
2	一般	約3時間～約5時間	700m～1500m
3	中級	約5時間～約8時間	1500m～2500m
4	やや健脚	約8時間～約10時間	2500m～3000m
5	健脚	約10時間以上	3000m以上

※実歩行時間、累積標高差に対する体力度レベルが異なる場合、それぞれの体力度レベルの最大値を、相当する体力度レベルとします。

※累積標高差は1日のコース中の登った標高差、下った標高差の合計を表します。

□ 技術度

技術度	登山道の状況	登山の技術について
A	・概ね整備済み ・転んだ場合でも転落・滑落の可能性は低い ・道迷いの心配が少ない	・登山の装備が必要
B	・沢、崖、場所により雪渓などを通過 ・急な登下降がある ・転んだ場合の転落・滑落事故に繋がる場所がある。	・登山経験が必要
C	・ハシゴ・クサリ場、また場所により雪渓や徒渉箇所がある。 ・ミスをするると転落・滑落などの事故となる場所がある。	・ハシゴ、鎖場などを通過できる身体能力が必要
D	・厳しい岩稜や不安定なガレ場、ハシゴ・鎖場、藪漕ぎを必要とする箇所、場所により雪渓や徒渉箇所がある。 ・手を使う急な登下降がある。 ・ハシゴ・鎖場等の人工的な補助は限定的で、転落・滑落の危険箇所が多い。	・岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要
E	・緊張を強いられる厳しい岩稜の登下降が続き、転落・滑落の危険箇所が連続する ・深い藪漕ぎを必要とする箇所が連続する場合がある。	・岩場、雪渓を安定して通過できるバランス能力や技術が必要 ・登山者によってはロープを使わないと危険な場所がある。

- 例) ■ 黒島口より角田山を実歩行2時間程度で安全に往復。…………… 体力度1 / 技術度A【日帰り】
 ■ どんぐりの森より五頭山を実歩行5時間程度で安全に往復。…………… 体力度2 / 技術度B【日帰り】
 ■ 二王子神社口より二王子岳を実歩行7時間程度で安全に往復。…………… 体力度3 / 技術度B【日帰り】
 ■ 小谷温泉より雨師山を実歩行7時間程度で安全に往復…………… 体力度3 / 技術度C【日帰り】
 ■ 銀山平登山口より荒沢岳を実歩行9.5時間程度で安全に往復。…………… 体力度4 / 技術度D【日帰り】

・コース表中の歩程(時間)、及び体力度レベルの実歩行時間は標準のコースタイムを基に現地最新情報を加味して計算しており、休憩、食事等の時間は含まれておりません。

・実際のツアーでは15%～25%の時間が余計に必要となります。また、ツアー参加者の人数や各人の体力、技量、体調等の条件が異なる上、当日の天候や気温、登山道の混雑状況によっても、所要時間は大きく左右される事も予めご了承下さい。「帰着時間が予定より遅れた」「表記の時間は早すぎる」等のご意見も頂きますが、あくまで「目安」であることを充分にご理解の上お申込下さい。

・体力度2、技術度B以上のコースにご参加いただけるお客様は、12ヶ月以内にお申込のレベルより体力度、技術度ともに1ランク下のレベルの山を完登された方が対象となります。

□ 受持人数の目安

体力度1 または 技術度Aまで	30名様
体力度2 または 技術度Bまで	23名様
体力度3 または 技術度Cまで	15名様
体力度4 または 技術度Dまで	13名様
体力度5 または 技術度Eまで	8名様

□ 入浴代金込み!

下山後に立ち寄り入浴施設の代金が旅行代金に含まれます!
【注意点】
 ・一部コースでは下山後の入浴を予定しておりません。
 ・該当コースに記載有。
 ・施設は変更になる場合があります。
 ・諸事情により立ち寄りが出来ない場合があります。
 その際は、入浴代金に相当する代金に、加え法律により定められた「旅程保証」をお支払いします。

登山時の服装と持ち物 登山服装やシーズンにより装備はことなります。

- **ウエア**
フリース等の保温性があるもの。防水・防風性があるゴアテックス素材の雨具などを重ね着すると温度調節ができる。
- **シャツ**
保温性・発汗性のあるもの。
- **下着**
化繊素材で保温性・速乾性のあるもの。替えの用意が必要!
- **ズボン**
ジーパンは不可。山用のスラックス等が歩きやすい。
- **スパッツ**
雨や雪・砂利などの靴への侵入を防ぐ。雪山にはロングスパッツが最適。
- **靴下**
吸水性・発汗性のあるもの。替えの用意が必要。
- **靴**
底が厚く凹凸のある防水性に優れたもの。くるぶしが隠れる登山靴が望ましい。
- **軽アイゼン**
軽アイゼンが必要の旨の表記があるコースについて、必ずご持参下さい。但し、表記がない場合についても、残雪の状況に必要な場合もござります。その場合はこちらからご連絡致します。
- **雨具**
ポンチョよりも上低下バレットのレインスーツ型ゴアテックス製品が望ましい。雨を防ぐとともに防寒具としても活躍。折りたたみ傘もあると便利。
- **防寒具**
フリースのジャケットやウールのセーターなどが最適。雨具でも代用できる。
- **帽子**
耳が隠れる保温性のあるもの。シーズンにより選ぶ。
- **マフラー**
風や雪の侵入を防ぐもの。ネックウォーマーが望ましい。
- **手袋**
保温性・発汗性・速乾性・防風性のあるもの。
- **ストック**
体重の分散とバランスをとり、膝の負担を和らげる。
- **ザック**
バックパック後、2割程度の余裕をもった大きさと自分の体型に合った背負いやすいもの。
- **ザックカバー**
ザックを雨から守るためのカバー。
- **タオル**
汗拭きや温泉入浴の際にも重宝する。少なくとも2枚は必要。
- **ライト**
早朝出発時、山小屋での消灯時や、遅くなった非常時の下山に必要。
- **水筒**
アルミ・プラスチック等で1リットル程度のもの。
- **ビニール袋**
雨からザックの中のものを守るのに必要! ゴミ袋としても使える。
- **携帯トイレ**
自然環境を守るためのマナーとして持参してください。
- **その他**
ティッシュ・地図・コンパス・時計・メガネ・サングラス・筆記用具・常備薬・非常食・健康保険証など。

登山後の入浴について

基本的に下山後、入浴施設(旅行代金込み)に立ち寄り(一部例外あり)。入浴道具や替えをご用意下さい。

悪天候時について

旅行の主たる目的である登山実施が履行できない事が確実でない限り、ツアー催行は中止とはなりませんので、ご了承下さい。

添乗員の同行について

旅行中は基本的に登山添乗員が同行致します。ただし、登山添乗員が現地に滞在する場合は、バスやフェリー、航空機など乗車中の区間に限り、添乗員が同行しない場合もござります。

ご参加にあたってのお願い。《旅行条件と合わせ必ずお読みください。》

- ① 天候・コースの状況・その他事由により添乗員又は現地案内人の判断で登頂を断念、またはコースを変更する場合がございますので予めご了承下さい。
- ② 上記の場合において基本的に旅行代金はご返金いたしません。また、日程の延長や短縮、宿泊施設や交通機関の変更があることをご了承下さい。また、その際の追加費用は各自負担となります。
- ③ 登山ツアーは団体行動の原則の上に成立するサービスです。ツアー参加者間での協力を心がけると共に、添乗員の判断・指示のもとに行動して下さい。
- ④ ご出発日まで各自トレーニング等により体力を備え、ツアー参加の際は万全の体調でご参加くださるようお願いいたします。体調がすぐれない場合はご参加を見合わせるようお願いいたします。
- ⑤ 健康に不安のある方、医師により運動を禁止されている方はご参加頂けません。特に心肺系、心血管系、高血圧、糖尿病、呼吸器系、消化器系などの慢性疾患をお持ちの方は必ず医師にご相談ください。
- ⑥ 全コース、登山靴や雨具など相應の登山装備が必要になります。ツアー当日、雨具を忘れたなど装備の不備で安全性に問題があると判断した場合は参加をお断りする場合があります。
- ⑦ お客様の体力的又は技術的な問題によりパーティの円滑な進行が困難と添乗員が判断した場合は、登山を中止して下山又は安全な場所で待機して頂く場合がございます。
- ⑧ 登山ツアーをお申し込みの際、「ツアー出発までに「お伺い書」の提出をお願いしております。
- ⑨ 宿泊は基本的に相部屋となります。時期によっては混み合うことが予想されます。山小屋以外の宿泊施設で個室をご希望の場合はお問い合わせください。(お受けできない場合もございます)
- ⑩ ツアー参加者の健脚度や当日の天候、登山道等の混雑等により所要時間は大幅に変動します。それにより帰着時間も大幅に遅れる場合がございますのであらかじめご了承ください。
- ⑪ 登山ツアーは、安全上の理由から、途中離脱は原則として、認められません。予め、ご了承下さい。

※登山ツアーにご参加の方、全員の方に「登山のためのお伺い書」の提出をお願いしております。「登山のためのお伺い書」は毎年度毎に、提出をお願いいたします。